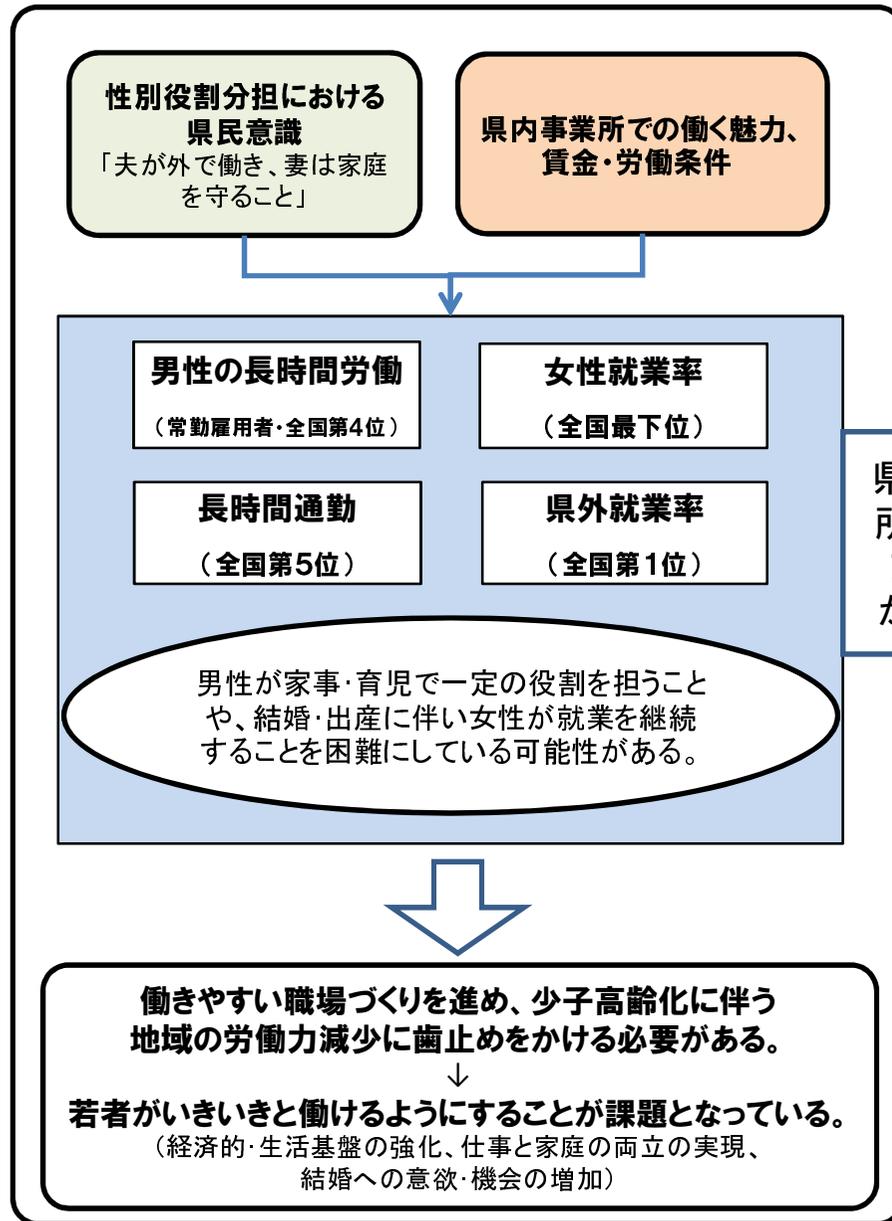


Ⅲ. 働き方改善

- ◆ 「働いて良し」の奈良県を目指すための3番目の柱は、働く環境を整備、改善していくこと。
- ◆ 働く意欲を持つすべての人々が希望する働き方ができ、仕事と家庭を両立しながらいきいきと働けるようにするために、しごと環境の改善にむけた「働き方改善」を進めることが大切です。
 - 働き方改善の課題分析における4つの視点
 - ・ マインド
 - ・ フィールド
 - ・ スキル
 - ・ ライフ

本県における働き方を巡る現状と県の取組



県内事業
所の働き
方改善
が必要。

「働き方」には、歴史的・文化的な背景とそれに基づく人々の意識や雇用慣行、業種や職種による違いなどが関係しているものと思われる。

これまでの取組

- 働くことの意義や職場のマネジメントについて先行文献や先進事例を調査、有識者にヒアリング
- 県内事業所とその従業員に働き方に関するアンケートを実施
- 行政、労働団体、企業経営者等で構成する「奈良県働き方改革推進協議会」を設置し、働き方改善に関する議論を開始

働き方改善の課題分析するため、4つの視点(マインド、フィールド、スキル、ライフ)から課題と課題解決の方途について検討分析を進め、今般、中間報告という形でとりまとめたところです。

4つの視点

マインド

労働者や経営者が有している労働に関する意識や組織風土

フィールド

職場におけるマネジメント

スキル

労働者のスキルの獲得・向上

ライフ

多様な働き方の選択肢

マインド

取組の方向性

働きがいを見出し、いかに効率的に働こうとしているのか、それを阻害している要因は何かについて、事業所側、労働者側(管理職、非管理職)の意識から考察する。

課題解決の方途

- 1.労働生産性向上に関する意識・理解の促進
労使ともに労働生産性向上に関する意識を持つよう、理解の促進を図る。
- 2.ワーク・ライフ・バランスを実現させようとする意識の醸成・共有
男女とも、仕事と生活を調和させようとする意識を共有するよう意識の醸成を行う。
- 3.就業意欲についての動機付け
社会に対する貢献の意識を持つよう、「働く意味」について考える機会を提供する。

フィールド

取組の方向性

- 就業規則等の内容や運用と、長時間労働との関係を研究し、対策を検討する。
- 各職場の実情に応じた労働生産性を向上させる職場マネジメントの手法について情報収集を行う。

課題解決の方途

1. 実情に応じた対応策の職場単位(事業所単位)でのマネジメントの実践
実情に応じた対応策の職場(事業所)での実践について、インセンティブや支援策を立案する。
2. 産業や職種の特徴に応じた効率的な働き方の実践
アンケートの分析から、産業や職種等における特性を明らかにし、効果的な対応策を提示するとともに、県内事業所の実態調査等を通じて、優良事例の発掘を行い、発信する。
3. 業務能率やモチベーションの向上につながるメリハリのある働き方の実践
管理職、非管理職双方の働き方の見直しにつながるような先進事例等の収集・整理と発信を行う。

スキル

取組の方向性

- 労働者のスキルと労働生産性の関係について、先行研究等を調査する。
- 事業所の人材育成策が経営に好影響を与えた成功事例について調査・分析する。

課題解決の方途

1. 業務を効率的に遂行するための知識・技能の向上
県内事業所の実態調査や県外の先進事例等の収集を行い、管理職、非管理職双方のスキル向上につながるような優良事例の発信を行う。
2. 業務水準を高めるための幅広い業務関連知識の修得
実情に応じた対応策の職場(事業所)での実践について、インセンティブや支援策を立案する。

ライフ

取組の方向性

- 就業規則等の内容や運用がワーク・ライフ・バランス向上に与える影響について検討する。
- ワーク・ライフ・バランス向上の取組と労働生産性の関係について先行研究等を調査する。

課題解決の方途

1. 生活状況に応じたワーク・ライフ・バランスを実現させる制度の整備と活用
さまざまなライフステージにある従業員のワーク・ライフ・バランスを実現できるよう、制度や実践方法等について、情報発信を行う。
2. 多様な人材を活用するための働き方の選択肢の拡大
働き方や生き方の多様性を受容し、従業員の仕事への意欲を持続させるための必要性や制度等について、普及啓発を図る。

これからの取組予定

- 県内事業所への訪問調査、働き方改善シンポジウムの開催、働き方改善セミナーの開催(業種組合、商工会、労組等、働き方改革推進協議会の開催などを通じて、さらなる実態の把握と気運の醸成を図る。
- 働き方改善に関し、調査研究をさらに進め、県の取り組むべき施策の企画・立案につなげる。

➤ 実効性のある働き方改善をどのように進めていけばよいか。